



心をみがく

令和5年1月11日(火)
児童数:133名 がっこう
直方市立直方西小学校
校長 花田 裕美子
NO.14

明けましておめでとうございます。
2023年、今年もよろしくお願いいたします。



日頃より本校教育活動にご理解、ご協力をいただき心より感謝申し上げます。

新年を迎え、子どもたちの元気いっぱいの笑顔、新年の挨拶に心が温まり、気持ちのよい新学期を迎えました。

年末の終業式は、積雪のため前日に通知表や手紙類を配付し、登校時間の変更などご家庭には大変ご心配やご迷惑をおかけしたことをお詫言います。快く対応していただきありがとうございました。3学期も本校教育活動へのご理解、ご協力をいただきますようよろしくお願いいたします。

3学期も感染症対策をしながらの教育活動になります。インフルエンザもはやり始めているということでこれまで以上にマスク、手洗い、消毒、換気などをしっかり行っていきます。保護者の皆様には、お子様の健康チェックカードによる検温や体調管理をよろしくお願いいたします。子どもたちは、登校時に昇降口での消毒と健康チェックカード提出は習慣になっています。給食の時間について直方市内小中学校では、これまで通り黙食を継続することになっています。子ども達にとっては楽しいはずの給食の時間ですが、もう少し我慢することになります。学校での楽しい活動が制限されていますが、工夫して実施していきます。

3学期の行事について



1月26日(木)	授業参観
1月27日(木)	6年生お茶会 歳時館に行き、自分で制作した古高取り焼きのお茶碗でお茶を点てます。
2月3日(金)	6年生中学校説明会(詳細は後日)
2月7日(火)	3年生 九州交響楽団コンサート
2月10日(木)	新1年生入学説明会
2月19日(日) 翌日は振替休日	学習発表会(午前中)各学年で実施 6年生は庚申太鼓の披露
3月3日(金)	お別れ集会
3月15日(水)	卒業式
3月22日(水)	給食終了
3月24日(金)	修了式

各行事とも感染症対策をしながら実施します。子どもたちは行事に取り組むことで、体験が増え、ものの見方や考え方がぐんと成長していきます。そのために、できるだけ実施したいと考えていますが、今後の感染状況によっては中止したり、参加人数の制限をしたりさせていただきます。

食について考える

〔1月24日～1月30日は、全国学校給食週間です 〕

昨日から給食が始まりました。ところで、冬休みに子どもたちは、おせち料理を食べましたか。今日の給食は、お正月料理で「ぶりのてりやき」「くろまめ」「ぞうに」でした。子ども達はおせち料理の意味を知っていますか。

そもそも「おせち」とはお節供の略で、年の始めにその年の豊作を祈って食べる料理や武家の祝い膳、新年を祝う庶民の料理などが混ざり合って出来たものだそうです。さらに正月3ケ日は家事から解放するという意味を含め、保存の効く食材が中心のものになったといわれています。またお正月に火を使うことをできるだけ避けるという意味も含んでいます。おせち料理はめでたいことを重ねるという願いを込めて重箱に詰めます。基本は四段重ねで上から順に、一の重、二の重、三の重、与の重と呼びます。

一の重…黒豆、数の子、ごまめ（田作り）などの祝い肴

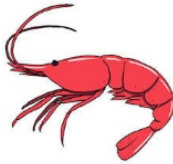
二の重…伊達巻やきんとんのような甘いもの中心

三の重…魚や海老の焼き物など海の幸

与の重…野菜類の煮物などの山の幸



おせち料理に詰められる料理は、それぞれ意味が込められています。食育の知識として、子ども達にも意識してもらいたいです。日本の伝統文化「和食」や伝統料理、郷土料理等にも目を向けてほしいと思います。

	黒豆…一年中「まめ（まじめ）」に働き「まめ（健康的）」に暮らせるようにとの願いが込められています		数の子…たくさんの卵があるということから、子孫繁栄の願いが込められています。
	田作り…片ロイワシの稚魚を干して飴炊きにしたもの。片ロイワシを農作物の肥料として使った田畑が豊作になったことにちなみ、五穀豊穰を願います。		海老…腰が曲がるまで丈夫という長寿の願いが込められ、海老の赤色は魔よけの色とも言われています。
	昆布巻き…「よろこぶ」の語呂合わせから祝いの儀には欠かせない食材です。		きんとん…「金団」と書き、その色から財産、富を得る縁起物とされています。
	紅白なます…大根と人参をお酢で合わせたものです。紅白なますはかつて、生の魚介と大根、人参と酢で作ったことから、なますの名がつけられました。紅白のおめでたい色は水引を表し、紅白の組み合わせは平和を願う縁起物です。		筑前煮…穴にちなんで将来の見通しがきくとされる「蓮根」や、小芋をたくさんつけることから子孫繁栄の縁起物とされる「里芋」の他、土の中で根を張る根菜を用い、末永い幸せを願う意味があります。

学校給食週間は学校でも取り組みをします。食べることは、命をいただくこと。

私たちの体は、自分が食べたものでできています。肉、魚、野菜…食に関わる人達、給食調理員さんに感謝して残さず味わっていただいてほしいものです。



本をたくさん読みましょう。いいことがありますよ。



3学期が始まりました。2学期の振り返りで、一番ポイントが低かったのが「がっこうや いえで ほんを できるだけ たくさん よむことができる。」の項目で、全校児童の67%の達成率でした。

児童の皆さんは、これまでに図書室の本を何冊借りて読んででしょうか。何冊おうちで本を読んだでしょうか。

本校では、図書委員会の人たちが全校のみんなが本をたくさん読むような取組を行っています。各学級でも本を読むことをすすめています。学校では、なかなか時間がないかもしれませんが、休みの日や自学で本を読んで心と頭に栄養を与えてほしいと思います。

今日は、**読書好きな子が経験している5つの効果**について、紹介します。脳科学で有名な茂木 健一郎先生も読書の大切さを強く言われています。脳化学の立場から読書の効果について述べられたものがありますので紹介します。集中力、想像力、ストレス解消、読解力、人の気持ちが分かる……明日から本好きな子が増えるといいですね。

脳科学でも証明されている！読書好きな子が経験している5つの効果

読書の効果① 語彙・言語能力の発達

絵本や本の中にある言葉や表現の仕方は、私達の日常で使われている言葉とは少し違ったものですよね。読書をすると意識せずとも語彙が増え、言葉の発達もぐんぐん伸びます。

読書の効果② 集中力がつく

本が好きな子は集中力があると言われる。確かに読書はテレビや漫画に比べると、真剣に本と向かい合わなければ内容が頭に入ってきませんね。

読書の効果③ 想像力・感受性が豊かになる

沢山の本に出会うと、本の数だけ疑似体験ができますね。現実には行けない場所・状況・環境でも、本の中ならあっという間に飛び込んでいけます。その経験が「想像力」と「感受性」に繋がっていくのではないかと思います。

読書の効果④ ストレスの解消ができる

読書が大好きになって、本の世界に没頭できるようになると読書は手軽なストレス発散方法になります。疲れた時はごろんと寝転んで本を開きます。そうすると、心も体も随分リラックスしているのを感じます。

読書の効果⑤ 人の気持ちがわかるようになる

読書をすると様々な登場人物の心理を読み取る事になるので、自然と人の気持ち・共感する能力が上がります。

児童の2学期の学習・生活 振り返りの結果について

子ども達の2学期の振り返り(全学年の結果)は、1学期に比べて少し下がった項目もありますが、上がった項目もあります。「かしこい子」の4・5が少しでも上がったことは、とてもよいことだと思います。「自分で考える」ことはとても大切です。また、家庭学習の習慣が身につけていることは、学習内容だけでなく、自分で学習する力がついているのです。

私達は生活していく上で学び続けることが大切です。決められた家庭学習の時間や内容ですが、家に帰れば、先生がいて何か言うわけでもなく、チャイムもありません。それを自分から学習に向かうわけですからこれは子どもにとっては、すごいエネルギーです。でも、習慣化すれば当たり前になり、楽に学習に向かえることでしょう。つまり、「継続する力」「最後まで頑張る力」「忍耐力」「自分から進んで学習に向かう力」も家庭学習をすることでしっかり身に付けることができているのです。

西小の子ども達の素晴らしさが表れているのが、「やさしい子」「たくましい子」にある項目の友達との協力や声をかけ合う関係の良さです。これは、自然にできているし、相手への思いやりがあるのだと思います。

課題は、「だまってそうじ」「読書」。3学期はしめくくりとして頑張ってもらいと思います。そして、「時間やきまりを守る」これが下がっているのが気になります。「きまり」「ルール」「時間」を守めることは学校だけでなく大人になっても大切なことです。学校でもしっかり取り組みをしていきます。

ご家庭でも、子ども達に励ましの言葉かけをよろしくお願いします。

(保護者の方のアンケート結果は次回掲載します。)

令和4年度 2学期のふりかえり		よくできた	だいたいできた	あまりできなかった	ぜんぜんできなかった		
かしこい子		4	3	2	1	1学期	2学期
1	せんせいや ともだちの ほうをみて はなしを さいごまで きくことが できる。	44	54	7	4	82	82
2	めあてに むかって さいごまで あきらめずに どりよくすることが できる。	53	39	16	1	85	83
3	じぶんの かんがえを はっぴょうしたり ともだちに つたえたり できる。	37	42	23	7	75	75
4	知っていることや わかったことをもとに じぶんで かんがえることができる。	48	48	9	4	80	82
5	「がくねん×10ぶんかん」の かていがくしゅうを することができる。	53	38	12	6	81	82
やさしい子							
6	ともだちや せんせいに たちどまり あいさつすることが できる。	56	40	11	2	84	84
7	あいての きもちを かんがえて ちからをあわせることが できる。	45	50	12	2	82	82
8	ともだちの よいところを みつけあい はげましあうことが できる。	56	36	12	5	82	83
9	だまって そうじを さいごまで することが できる。	29	45	23	12	73	71
10	がっこうや いえで ほんを できるだけ たくさん よむことができる。	34	24	35	16	70	67
たくましい子							
11	じかんや きまりを まもることが できる。	36	52	18	3	83	78
12	こえを かけあって なかよく あそぶことが できる。	73	28	4	4	88	89
13	はやね・はやおき・あさごはんを たべる ことができる。	59	30	15	5	84	83
14	じぶんで もくひょうをきめて がんばることができる。	50	38	14	7	80	80
15	けんこうな からだや あんぜんのために かんがえて こうどうすることができる。	62	33	11	3	85	85